

こんな気持ちで外国語(英語)活動を！！

～教師の心構え～

- 1 教師も、楽しんで活動しましょう。
 - ・ 教師自身が楽しみ、子どもとともに学びましょう。
 - ・ 担任が、積極的に話すと、子どもは安心して楽しめます。
 - ・ できないから、練習させてもっと上手に…と考えないようにしましょう。
- 2 子どもたちにとって楽しい時間になるよう担任、ALT、外国語活動指導員で、アイデアを出し合いましょう。

子どもにとって楽しさとは、
「ともに活動する楽しさ」
「友達や指導者に認められる楽しさ」
「聞きとれた時の楽しさ」
「伝えられた時の楽しさ（動作で、表情で、言語で）」です。
このような楽しさが味わえるような内容を工夫しましょう。
- 3 子どもの興味・関心・意欲を大切にし、子どものニーズに応えられる活動にしましょう。
 - ・ 子どもの身近にある題材を取り上げましょう。
 - ・ 聞く・話す必然性のある場面を設定し、子どもが、伝え合えた喜び、人と関わることの楽しさを感じられるような活動にしましょう。
- 4 学習した英語表現は、忘れてもかまいません。また、いつでも覚えることはできます。
 - ・ ALT や外国語活動指導員、友達と心を通わせた喜び、認められた喜び、楽しさは、一生続くものと考え、大切にしていきましょう。
- 5 子どもたちが『音声主体のコミュニケーション英会話をシャワーのごとく浴びる』ことができる環境づくりを心がけましょう。
 - ・ 英語音の世界にひたるうちに、子どもたちは、英語表現に慣れ親しんでいきます。
 - ・ ALT や外国語指導員の英語を使っての話を逐一日本語で解説したり、カタカナで書いたりせず、子どもが相手の目や表情を見ながら、伝えたり聞き取ろうとしたりする気持ちを大切にしましょう。